

活動の感想

- ・12月はクリスマス 月間。冬休みもあるため、1回のみだが、イベントとしてバイキングディナーにしました。
- ・11月に寄付されたジャガイモも使いつくし、12種類のバイキング形式で楽しみました。食べ放題は無理ですが、決められた個数以下で好きなものを自分で取って食べる特別な食事タイムで好評でした。
- ・いつもより食事の種類が多いので、前日から買い出しと仕込みをしました。当日はいつもより3人も多くの方々が調理の手伝いに参加くださり、とてもとても助かりました！
- ・食器はクリスマス 紙皿、紙コップ、割り箸を使ったので、後片付けがとても楽でした。
- ・少しずつ「せいなん」のために寄付金を送ってくださる方もあり、関心や応援の想いを持つ方がおられることが嬉しく思いました。
- ・岩手日報からの取材がありました。
- ・今回のバイキングや、テーブルのレイアウトは常連のママさん方からの知恵も借りて行うことができました。

今後の課題

- ・まだ「こども食堂」は貧困家庭対象という認識が一般的なので、貧困でない一般家庭の方々が利用してよいものか、戸惑っているという話を聞きました。この名称を続けるかどうかは今後の課題ですし、経済的貧困家庭対象だけでなく、みんなでそれぞれの生活を補い助け合う町づくりの居場所となることを願っています。
- ・外は暗くなる時間が早くなったので、外遊びには大人がついてケアするように気を配る必要があることです。
- ・ボランティア（こどもケア、調理）の募集をどのように広めていったらよいのか検討課題です。